

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光型ホテル （スタッフ）	来客数の動き	・東京、大阪などの遠来客が増えるなど愛知万博特需に支えられ、すべての営業部門で好調である。
		都市型ホテル （経営者）	来客数の動き	・愛知万博の影響で宿泊数が増加しており、ほとんど満室になっている。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・例年夏休みが終わると売上が減少するが、今年に限っては3月以降、愛知万博の影響により愛知万博のグッズなどの売上が増加している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・敬老の日、お彼岸ともに例年に比べ来客数が1割程度伸びている。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・来客数が大きく増えているわけではないが、客の表情が少し明るくなって、高価な物を求めるようになってきている。前向きに考える客が徐々に増えており、雰囲気的には良くなってきている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・愛知万博が閉幕したが、当地の観光客の動向は開催中と変わらず、プラスに向けたままである。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・季節催事の売上が好調で、中秋名月の月見団子やそれに関連する食品の商材、彼岸のおはぎ、仏花の売上は昨年と比べて10%ほど増加している。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・客単価、買上点数とも昨年比微減であるが、既存店の来客数、販売点数は1%伸びている。新規店舗の来客数も大きく伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・今月は天候にも恵まれており、米飯やドリンクを中心に売上が好調である。売上前年比も102%と100%をクリアできている。
		コンビニ（売場担当）	来客数の動き	・名古屋駅周辺は万博効果で来客数が大変増え、売上も増加している。ただし、それ以外の地域では平常と変わらない。
		衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・衣料品は全体的にみると苦戦しているが、一部商品では正価販売で上昇傾向である。
		家電量販店（店員）	お客様の様子	・客との会話の中で、ここ数か月、景気が上向きになっているという話が増えている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数はそれほど多くないが、成約率は高まっている。以前より購入の決断が早くなっている。先行きの見通しが以前と比べて明るいことが要因としてあげられる。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・9月は自動車業界にとって決算期であり例年販売数は増加するが、今月も例年どおりに販売できている。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が多く、購入につながる真剣な話も多い。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・持家住宅や民間企業の設備投資も堅調である。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・万博効果が好影響を与えている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	来客数の動き	・愛知万博が閉幕し、客足は街に戻ってきている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・愛知万博の影響があり、都心店舗を中心に来客数は前年を上回っている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・上場企業の客が取引先を愛知万博に招待し、その帰りに来店してくれるなど、今月は客の出入りが極端である。1人当たりの単価は低いが、1か月間を通してみると、先月に比べ来客数は増加し売上もやや増加している。
旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・問い合わせ数は顕著に増加してきている。		
旅行代理店（従業員）	それ以外	・秋の団体旅行の取扱数がかなり増えており、10、11月の派遣添乗員が足りないという、過去例のない現象が起きている。		
タクシー運転手	お客様の様子	・愛知万博終盤の大きな盛り上がりにより、朝4～6時ごろにホテル、駅から万博会場へ向かう客が増え、売上が増加している。		

	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・他社サービスとの競争はますます激しくなっているものの、新規契約は順調に推移している。
	通信会社（開発担当）	販売量の動き	・光通信サービスの申込が順調に伸びている。
	通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・新聞広告などに対する反応が早くなっており、以前よりも購買意欲が感じられる。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・愛知万博、花フェスタ2005などの大イベントの影響下にもかかわらず、入場者数は改善に向かっている。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客に仕事の様子を聞くと、皆大体忙しくなってきたり、周囲の景気も回復していることが実感できる。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・住宅部門の契約件数が増えている。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月は残暑が厳しいが、季節商品を販売している関係上、秋物商品が売れず販売量は落ち込んでいる。来客数、客単価ともマイナス傾向である。
	商店街（代表者）	単価の動き	・以前と比べると、高単価商品が少しずつ売れるようになってきている。ただし全般的には低単価商品が中心で、必要量以上消費しない傾向も続いている。
	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	単価の動き	・製品の価格面だけでなく機能面等についても問い合わせがあり、成約しやすくなっている。ただし前年より良いというほどでもなく、全体的にはあまり変わらない。
	一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・先月に続き非常に暑い晴天の日が多く、台風も来ない天候に恵まれたこともあって、商店街にもそこそこの来客数があり、昨年並みの売上に近づきつつある。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・相変わらず客単価が低い。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・残暑のせいで秋物の定番商品がなかなか動かなかったが、涼しくなってきた下旬からは売上は伸びており、全体としては変わらない。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・愛知万博効果が見られる。しかしその一方で、気温が高すぎて秋物衣料品の売上が大苦戦している。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・愛知万博の開幕に向けてお土産の駆け込み需要が大きく、売上は増えている。衣料品関係も、9月初旬は気温が高めで動きは鈍かったが、気温低下に伴い売上は好調に転じ、前年以上の売上を示している。
	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数が増えていない。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・相変わらず大型店のチラシ合戦に巻き込まれている。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・日によって売行きが変わり、上向きかと思うと逆に下向きになる。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・秋物セールなどを実施しているが、来客数の伸びはあまりなく、閉そく状態である。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価は依然として96%前後で推移しており、回復傾向はみられない。
	スーパー（店員）	単価の動き	・来客数はさほど変化がないが、売上は若干減少している。1人当たりの買上単価も低下している。
	スーパー（仕入担当）	単価の動き	・来客数は前年並みを推移しているが、チラシなどによる競合店との安売り合戦は相変わらずで、客単価は伸びず売上は厳しい状況で推移している。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・天候に恵まれた面もあるが、米飯を中心にファーストフードの販売は前年をクリアしており、店全体の売上も安定している。
	コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・来客数はやや回復傾向であるが、単価は以前より低下しているため、売上は伸びていない。
	コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・新商品の販売動向などをみても、顕著な変化はみられない。
	衣料品専門店（販売企画担当）	お客様の様子	・どの商品も1ロットに満たない注文になるため、取り寄せ料金が必要となっている。その一方で品切れによる機会損失もあるが、在庫は抱えられないため、悪循環である。
	家電量販店（経営者）	お客様の様子	・売上は昨年に比べると減少幅が縮まってきているが、良くなるにはまだまだ時間がかかる。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・中旬の連休以降、客の動きは全く途絶えている。問い合わせ件数なども顕著に少なく、消費よりもレジャーに向かっている。	

乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・中間決算時期を迎えても客の動きは鈍く、受注台数の伸び悩みが続いている。愛知万博に客が流れている影響も多少あるが、市場の盛り上がりもいまひとつ弱い。	
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰により、小型車へのシフトがみられる。	
乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・今月に入り来客数が減少傾向である。また、ガソリン価格の高騰から燃費重視の商談が多くなってきている。検討期間も軒並み長くなってきており、成約率の低下に寄与している。	
自動車備品販売店 (経営者)	来客数の動き	・全店的に来客数が減少しており、3か月前は好調に推移していた店でも来客数は落ち込んでいる。売上もタイヤ、アルミ、カーAVなど商品全般で落ち込んでいる。カー用品に使うお金を節約する傾向が強くなっている。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・天候不順、総選挙などのため、来客数が減っている。	
一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・昨年と比較すると、来客数は10～15%ほど増えている。	
一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・愛知万博会場近くの店舗では、客の入りがそれなりに良い。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊は愛知万博効果で引き続き好調であるが、レストラン、宴会の来客数は減少している。	
都市型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・愛知万博の影響により、宿泊部門は好調である。	
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・ガソリンなど燃料価格が高騰しているため、どこかで切り詰めるような動きがある。	
旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・静岡県東部のホテルでは、愛知万博開催中は毎月20%程度宿泊客が落ち込んでいるが、11月以降の予約は前年同月比100%以上であるため、一過性である。	
テーマパーク (総務担当)	来客数の動き	・来客数は前年を下回っているが、園内商品の客単価は若干上がっている。	
ゴルフ場(営業担当)	販売量の動き	・例年9月はゴルフ会員権の評価、見積などの問い合わせが増えるが、今年は問い合わせ、売買取引とも少なく、売上は目標の70%と停滞している。	
住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・住宅購入者は増えていないが、売る物件も少ないため、売れ残り物件が少しずつ売れている状況である。販売量は横ばいである。	
住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・愛知万博スタッフの住居確保のため、来客数は春先から増加傾向にあったが、ここにきて通常来の客数に戻っている。	
やや悪くなっている	一般小売店[薬局] (経営者)	販売量の動き	・愛知万博、暑さ、祭日、日数等の複合的な要因により、非常に暇である。他店でもここ数年来最も悪い様子である。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・9月に入り客が愛知万博に向かったため、平日の来客数が減少している。平日の売上はかなり減少し、前年割れが続いている。
	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・近くのスーパーが酒類を販売し始めたため、今まで当店で酒類を買ってくれた客が減り、販売量、来客数とも減少している。
	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が減少しているうえに、客単価が低下しており、低迷が続いている。
	家電量販店(店員)	販売量の動き	・台風の影響によるアンテナ関係の売上が多少増えており季節物の動きは悪くないが、前年に比べると残暑もそれほど厳しくなく低調である。
	その他専門店 [貴金属](店長)	お客様の様子	・セール、チラシなどで集客はできるが、目玉商品ばかりが売れ高額商品はぼつりぼつりしか出ないため、売上は伸びていない。
	その他小売[水産物卸売] (経理担当)	販売量の動き	・仕入価格が上昇しているが、販売価格は連動していない、売上も伸び悩んでいる。
	都市型ホテル (支配人)	来客数の動き	・愛知万博特需が終了し、悪くなっている。
	ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・今夏は昨年比べて来客数が激減している。9月に入り少し戻っているが、まだまだ昨年並みとはいかない。

		美容室（経営者）	競争相手の様子	・競合する新店舗が増え、客単価も低下している。厳しい競争のなか、店を運営していくのが難しくなっている。
		理美容室（経営者）	来客数の動き	・来店間隔が2か月、3か月と長くなる客が増えている。
	悪くなっている	百貨店（外商担当）	来客数の動き	・総選挙と愛知万博の影響で来客数が大きく減少し、それに伴い売上も大幅に減少している。外販しても客の反応は悪く、展示会でも愛知万博に行くからと購入を断られるケースが少なくなかった。
企業動向関連	良くなっている	行政書士	受注量や販売量の動き	・顧問先企業の出荷量が増加している。
	やや良くなっている	窯業・土石製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・受注は好調である。ただし短納期の案件があるため、残業が先月より5割増加している。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・大手からの生産依頼が数件出てきている。機種によっては増産に変わりつつある。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・設備投資の動きが顕著に出てきている。
		輸送用機械器具製造業（統括）	取引先の様子	・主力取引先の業況が徐々に回復しており、当社の受注にも少しずつ反映されている。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・設備投資意欲が非常に高まっており、大企業から中小企業まで力強い動きがある。
		企業広告制作業（経営者）	取引先の様子	・愛知万博を契機に好景気ムードが定着しており、取引先間に格差はあるがいわゆる勝ち組の好調は持続している。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・周辺の工業団地が完売しており、改善傾向である。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・取引先に仕事を発注したくても、フル稼働状態で受けてもらえない状況が続いている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・8月に続き超繁忙状態が続いている。設備投資の意欲は大変高い。
変わらない	バルブ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量とも横ばいである。	
	鉄鋼業（経営者）	取引先の様子	・国内需要は非常に少ない。受注につながる見積も少ない状況が続いている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・原材料の鉄鋼価格が高止まりしており、収益に影響が出ている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	それ以外	・原油価格の高騰による燃料費の増加、原材料の高止まりなどの外的要因はあるものの、下期の設備投資は若干ながら増加している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内販売は、新製品への引き合いは増加しているが、販売に結びついていないためほぼ横ばいである。米国向けは、資料提示機器が堅調に推移している。	
	建設業（総務担当）	取引先の様子	・毎月コンスタントに同じ仕事が入ってくる。	
	輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・荷物の運賃単価は依然として低下傾向である。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・前年の折込広告の出稿量は多かったが、それと同じレベルまできている。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・信用金庫などで出資配当を回復させるなど改善傾向であるが、中小企業では店舗閉鎖などもあり厳しさも残っている。	
	やや悪くなっている	金属製品製造業（従業員）	取引先の様子	・業界では、単価の低下、仕事量の減少などの話題が多く、良い話を聞くことはほとんどない。
一般機械器具製造業（販売担当）		受注量や販売量の動き	・引き合い件数、受注量は相変わらず多いが、原油価格の高騰に伴い運送費、原材料費が値上がりしており、利益率は下がり続けている。	
輸送業（従業員）		受注量や販売量の動き	・一般雑貨や商工業製品などの輸送物量は、前年に比べて数%減少している。	
輸送業（エリア担当）		受注価格や販売価格の動き	・貨物の動きは良くなっているが、燃料代の高騰分に見合うだけの運賃見直しは出来ていない。	

	悪く なっている	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・設備が老朽化しており修繕費や消耗品費が増加して いることに加え、賃貸収入の減少も重なり、増収減益 となっている。
		金属製品製造業 （経営者）	受注価格や販売 価格の動き	・受注単価は以前と比べて低下している。販売量も3 か月前、例年と比較して若干減少している。
雇用 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・愛知万博、選挙関連、自動車関連の好調に支えら れ、派遣注文は右肩上がりに増加している。
		人材派遣会社 （社員）	採用者数の動き	・企業からの派遣募集数は増加傾向にある。特にサー ビス業の求人数が伸びており、人材供給が追いつかな い。
		求人情報誌製作 会社（編集長）	求人数の動き	・愛知万博が閉幕し求職者が戻ってくるという期待感 を企業が持っているため、採用活動は活発になってい る。
		新聞社〔求人広 告〕（営業担 当）	雇用形態の様子	・当社が開催する正社員募集の転職フェアへの企業応 募が、過去最高となっている。特に技術系の募集が活 発で、この分野で求人難が続いていることがうかがえ る。人員確保のため、一部企業では契約社員から正社 員へ切替えが始まっている。
		職業安定所（職 員）	求人数の動き	・3か月前に比べ有効求人数は増加しており、求人倍 率も上昇している。
		職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・昨年に比べ採用者数は増加している。
		民間職業紹介機 関（経営者）	求人数の動き	・採用社数、人数ともに前年を20%以上上回る状況の 中、更に求人社数、件数ともに増加している。
民間職業紹介機 関（職員）	求人数の動き	・3か月前と比較して、求人数は増えている。		
変わらない	人材派遣会社 （社員）	求職者数の動き	・愛知万博が閉幕するためか、9月以降の派遣登録者 数は増加傾向にある。	
	職業安定所（所 長）	求人数の動き	・原油価格の高騰で各企業は難しい経営を迫られてい るが、求人数の減少、従業員の削減といった雇用への 影響は出ていない。	
	職業安定所（職 員）	雇用形態の様子	・大企業の収益が増加しても、賃金に反映される様子 はない。パート、派遣とも非正規社員の雇用増では景 気は良くはならない。	
	職業安定所（職 員）	求職者数の動き	・求職者数が減っている。	
やや悪く なっている	新聞社〔求人広 告〕（担当者）	求人数の動き	・愛知万博閉幕前後の求人増を期待していたが、一般 求人では特に目立った動きはない。ただ、自動車関連 企業の期間工募集やスーパーなど流通系の求人は好調 である。	
悪く なっている	-	-	-	-